

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

※  内は、ロットNo.表示位置を示します。

## ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ■施工上のお願い

- 把手・ストッパーは、必ず障子の外れ止め・クレセント受け・戸車を調整した後に取付けてください。(先に取付けると、外れ止め・クレセント受けの調整は、把手・ストッパーを外さない限りできなくなります。)
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷いたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり貫通したりするおそれがあります。

## ▲注意

- 思わぬケガや障子落下の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 本製品は複層ガラス使用のため、重量が最大で約80kgになります。重量に見合った人数で作業してください。
- 本製品はかなりの重量があるため、必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱で、開口部を作ってください。
- 必ず指定のスクリーナ・木ねじで枠を固定した後、障子を建て込んでください。
- 開口部を付け枠等でふさぐ場合は、一体物と同じ強度になるように取り付けてください。
- 躯体取付けねじは必ず締め付けてください。
- テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。必ず指定のねじで締め付けてください。
- 障子の建込み・建付け調整後、必ず外れ止めを上げてください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- 本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
- テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にシーリング材を充てんしてください。
- 下枠前面の水抜き穴部は、モルタル等で絶対にふさがらないでください。

## ■取付けねじ一覧表

イ	ロ	ハ	ニ
			
φ2.1×32 スクリーナ釘	φ3.8×38 丸木ねじ	φ3.5×20 皿木ねじ (アングル部)	ワッシャー付き 丸木ねじ (テラス(W2000 以上)のみ)

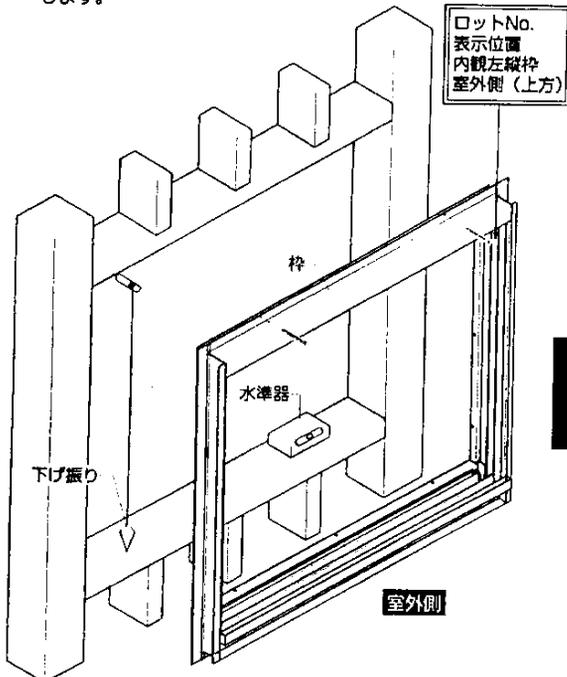
## ■把手・ストッパーセット一覧表

把手	把手ねじカバー	把手取付けねじ	ストッパー	ストッパーカバー	ストッパー取付けねじ (上枠取付け用) (下枠取付け用)
					
2個	4個	M5×25 バインド小ねじ 4個	2個	2個	M4×14 ナベ小ねじ 2個
					M4×25 ナベ小ねじ 2個

## ■取付け順序

### 1 枠の固定

①開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めます。

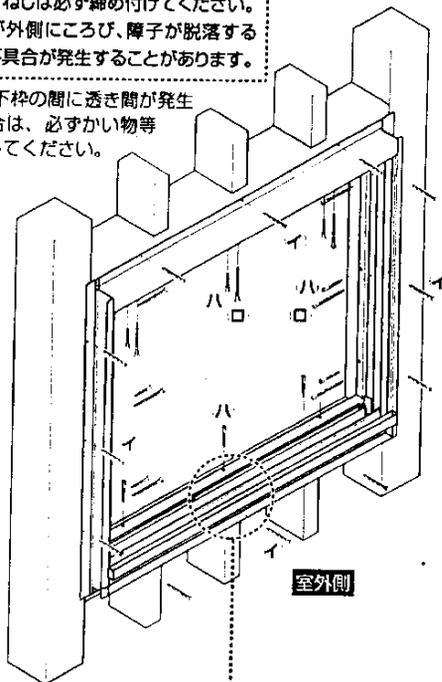


②下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

### ▲注意

●取付けねじは必ず締め付けてください。下枠が外側にこぼれ、障子が脱落する等の不具合が発生することがあります。

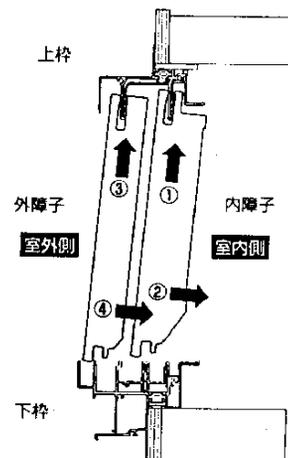
※躯体と下枠の間に透き間が発生した場合は、必ずかい物等で調整してください。



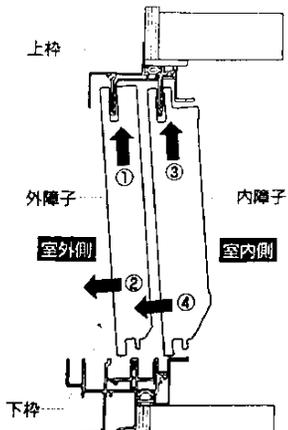
### 2 障子の建込み

●下図の手順で障子を入れます。※枠と障子の位置関係は納まり図を参照してください。

#### 【室外側からの建込み】



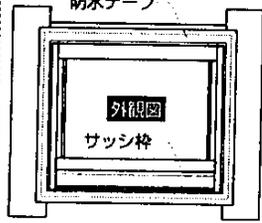
#### 【室内側からの建込み】



### ▲注意

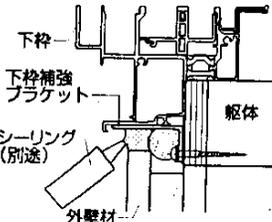
●本製品取付け後、必ず防水テープ(別売り)を張ってください。漏水の原因になるおそれがあります。

防水テープ



### ▲注意

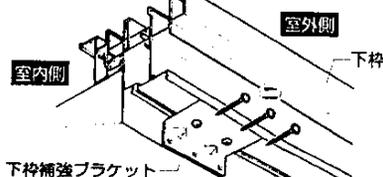
●テラス(W2000以上)の場合は、外壁材取付け後、下枠補強ブラケットとの間にシーリング材を充てんしてください。漏水の原因になるおそれがあります。



### ▲注意

※テラス(W2000以上)に付いている下枠補強ブラケットは、障子重量を支える重要な部品です。必ず指定のねじで締め付けてください。下枠が垂れ下がるおそれがあります。

※テラス(W2000未満)の場合は、下枠補強ブラケットは付いていません。



調整・取り付け調整

■戸車調整

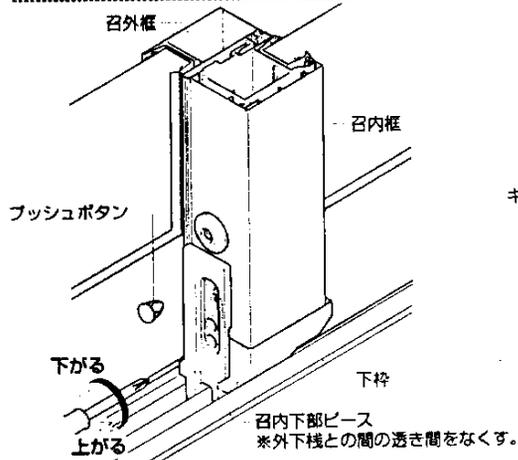
●プッシュボタンをいったん外して調整します。(調整後は、プッシュボタンを押し込んでください。)

※出荷時、障子は下がった状態にあります。それ以上は下がりませんので、上げたい場合のみ戸車調整してください。

■お願い

※召外下部の戸車を調整した場合は、召外下部気密ピースも調整してください。(部品を下げて透き間をなくします。)

※戸車調整後は、召内下部ピースも調整してください。(外下棧との間の透き間をなくします。)



■クレセント調整

【上下方向の調整】  
【クレセント本体】

①マイナスドライバーでキャップを外します。  
②プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント本体を上下に動かします。

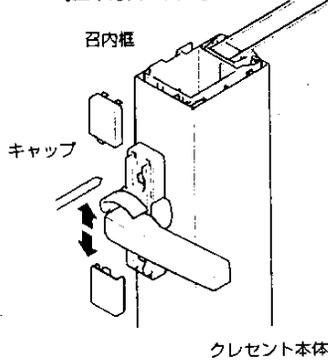
※調整後はねじを締めて、キャップをしてください。

【左右方向の調整】  
【クレセント受け】

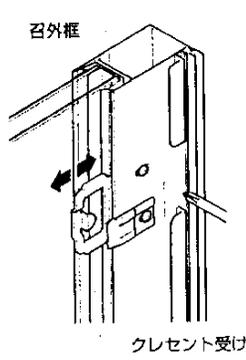
●プラスドライバーでねじをゆるめてクレセント受けを左右に動かします。

※調整後はねじを締めてください。

【上下方向の調整】



【左右方向の調整】

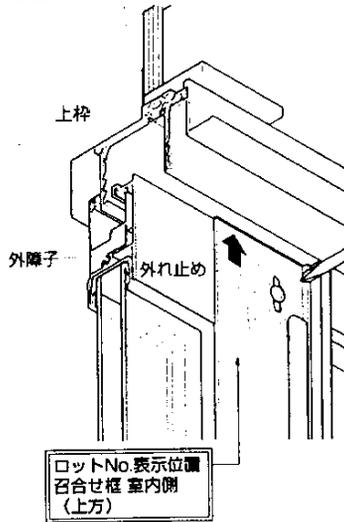


■外れ止め調整

●プラスドライバーでねじをゆるめて外れ止めを上げます。  
※調整後はねじを締めてください。

▲注意

●必ず外れ止めを上げてください。  
障子が落下するおそれがあります。

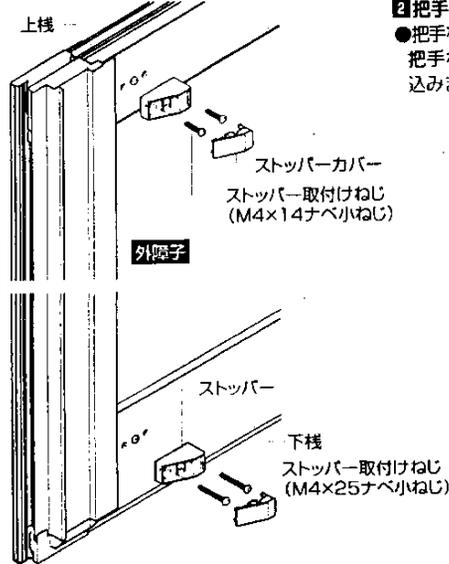
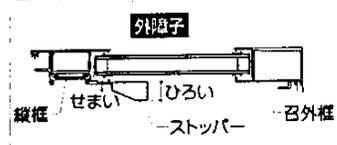


■ストッパー・把手の取付け

1 ストッパーの取付け

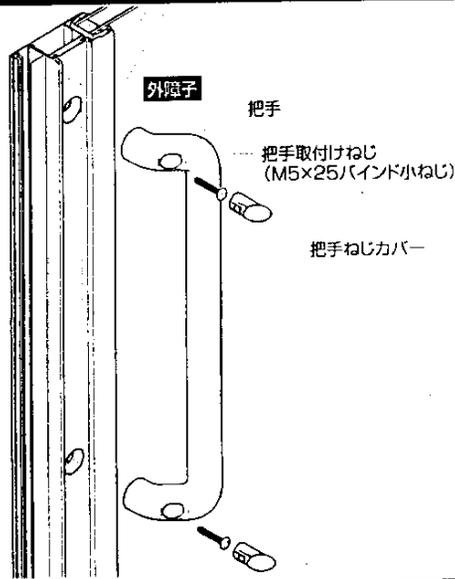
●ストッパーを下図の向きで外障子に取り付け、ストッパーカバーをはめ込みます。

■ストッパーの取付け方向



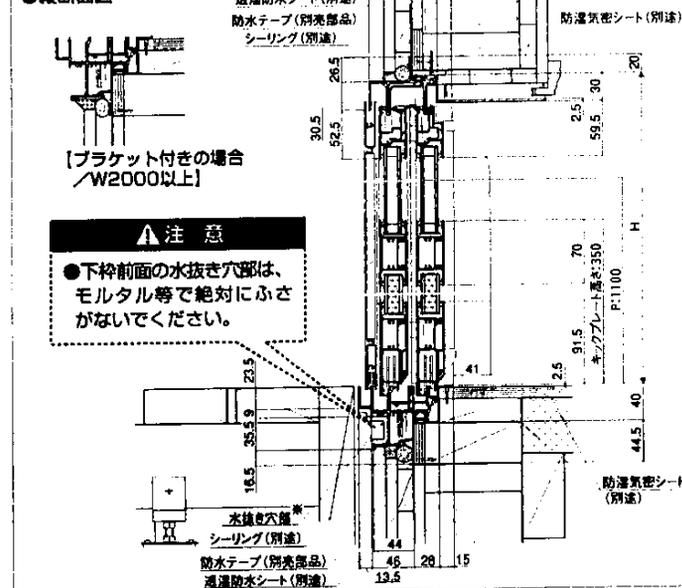
2 把手の取付け

●把手を縦框に取り付け、把手ねじカバーをはめ込みます。



■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

